

# 企業 ZOOM UP

第615回

## オリバナ

—CGをクリエイトする少数精鋭のプロ集団

2014年の日本国内映画興行収入ランキングで断トツの1位となったディズニーの『アナと雪の女王』。最新技術を駆使したコンピュータグラフィックス（以下CG）が雪と氷の幻想的な映像美を生み出し、多くの観客を魅了したのは記憶に新しい。日々進化を遂げるCG技術。CGは作品に魂を吹き込み、見たこともない感動を世界中の人に与える。

今回紹介する（株）オリバナは現代表取締役副社長の近藤清乃氏が企業やフリーでのゲームデザイナーとしての経験を生かし、2011年5月にゲーム用のCG制作を目的に設立した。その後、同氏の夫である現代表取締役社長、近藤輝貴氏が2012年11月に入社。近藤社長は、大手パチンコ・パチスロメーカーで映像プロデューサーを務めていた経歴の持ち主。同社長の入社以降は、主にパチンコ・パチスロ機向けのCG制作に軸足をシフトし、映像企画・立案、制作、管理に至るまで事業を展開し、実績を積み重ねてきた。

当社は、スタッフ21名のうち、ほぼ全員がCGクリエイターという生粋の技術集団であるが、パチンコ・パチスロメーカー側の要望を熟知した同メーカー出身のスタッフを5名有しているため、メーカー側からの抽象的な要望に対しても、期待に外れることなく、消費者側に立ったメーカー側のイメージ通りの企画提案を可能としている。この企画力こそが当社最大の強みである。また上流にあたる企画のみならず、下流の映像コンテンツの制作に至るまですべての工程を自社で賄うことができ、この点についても取引先の信頼を得ている。

当社の企画力・技術力が評価され、ここ最近では、パチンコ・パチスロのCG制作のみならず、活躍の場がテレビ番組のCG制作にも広がりつ

「情報管理については、プロジェクトごとに機密保持契約を結んでいます」と語る近藤社長



つあり、民放キー局から番組内で利用されるCGの制作を、制作会社からの下請けとしてではなく直接請け負うなど、事業領域が拡大している。

「常に先端技術が求められる業界だけに、人材こそが何よりも重要です」と近藤社長が語るように、人材育成に注力しており、組織的な人材育成を行っている点も特徴だ。当社では、「教育委員会」「技術委員会」「人事委員会」の3つの委員会制度を採用。「教育委員会」では、ビジネスマンとしてのマナーを身につけるための研修プログラムを考案し、研修を実施している。「技術委員会」は、経験の浅いスタッフへの技術伝承はもちろんのこと、常にアンテナを張り、新しい技術やツールの習得、技術検証などを行い、スタッフへの共有を図っている。「人事委員会」では、現場の意見を吸い上げる業務上の相談窓口の役割を担っている。こうした体系的な組織運営により、中長期的な視点で会社を担っていく人材を育成している。

「人材の補強を行いつつ、事業領域を広げていきたいと思います」と近藤社長は今後の抱負を語る。CGをクリエイトする少数精鋭のプロ集団として、更なる飛躍が期待される。

（取材・文／東京支社情報部 渡辺 雄大）

### 会社概要

（株）オリバナ  
 企業コード：172003761  
 東京都杉並区荻窪5-26-13、電話03-6383-5622  
 近藤輝貴社長  
 設立：2011年5月、資本金：1000万円  
 事業内容：コンピュータグラフィックスの企画、制作  
 年収高：約1億4400万円（2014年4月期）  
 従業員：21名  
<http://olibanu.com/>